

院内集会

排外主義にNO！ 誰もが人間として尊重され 差別なく共に生きる社会を

2025年11月26日(水) 12:00～13:30 開場 11:30

参議院議員会館 講堂 + オンライン (ZOOM)

【参加申し込みフォーム】 <https://forms.gle/xAhrLoRnYe2hHMuQ9>



参議院選挙後、「秩序ある共生社会」や「外国人の適正管理」といった言葉のもとで、排外主義的な言動や政策が強まっています。

今年5月に打ち出された入管局の「ゼロプラン」や、高市新政権による外国人への規制強化の動きは、共に生きる社会をめざしてきた私たちの歩みを後退させるものです。社会保障費の引き下げ、スパイ防止法制定など、人権保障に逆行する政策も次々と打ち出されています。

今、必要なのは「管理」や「排除」ではなく、すべての人が人間として尊重され、差別なく安心して暮らせる社会です。本集会では、現場からの報告や当事者の声を共有しながら、デマや差別に基づく排外主義を乗り越え、すべてのマイノリティの人びとの人権を尊重する共生社会の実現を考えます。

プログラム

◆ 「秩序ある共生社会」とは何か？

鈴木江理子さん（移住者と連帯する全国ネットワーク）

◆ 参議院選挙後に高まるデマと排外主義

安田浩一さん（ノンフィクションライター）

◆ クルドコミュニティの現状

温井立央さん（在日クルド人と共に）

◆ なかまたちが強制送還に怯えている 困窮者支援現場からの報告

瀬戸大作さん（反貧困ネットワーク）

◆ 外国人人権基本法、差別撤廃法の実現を

師岡康子さん（外国人人権法連絡会）

◇ 国會議員・団体からの連帯メッセージ

◇ 声明発表・行動提起

連絡先 移住連：smj@migrants.jp 平和フォーラム：office@peace-forum.top

【主催】特定非営利活動法人 移住者と連帯する全国ネットワーク（移住連）／「外国人・民族的マイノリティ人権基本法」と「人種差別撤廃法」の制定を求める連絡会（外国人人権法連絡会）／外国人住民基本法の制定を求める全国キリスト教連絡協議会（外キ協）／人種差別撤廃NGOネットワーク（ERDネット）／全国難民弁護団連絡会議（全難連）／一般社団法人 つくりい東京ファンド／一般社団法人 反貧困ネットワーク／フォーラム平和・人権・環境（平和フォーラム）